

平成 29 年度第 3 回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議 次第

日 時：平成 30 年 2 月 26 日（月）
午後 2 時から

場 所：教育プラザ事務所棟 2 階 201 会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 平成 30 年度事業計画（案）について 資料 1、2

(2) 平成 29 年度事業評価結果について 資料 3

(3) その他

3 その他

4 閉 会

【現状と課題】

（社会教育事業の充実）

28 地域自治区の公民館及び分館を中心に、様々な分野の学習機会、学習の成果を発表する機会を提供している一方、社会、経済、雇用環境等社会教育事業を取り巻く環境は変化しており、時代に適応した学習機会の提供が求められている。

（青少年教育活動の充実）

地域青少年育成会議では、地域の特性を生かした青少年育成活動が着実に広がっている一方、地域により活動内容や取組意識に差が生じており、関係者の意識啓発を図る取組が求められている。

謙信 KIDS プロジェクトでは、下学年を中心に申込み倍率が高く抽選になる講座がある一方、定員割れとなる講座があるなど、需要を満たしていない状況があることから、多くの子どもたちに豊かな体験活動を提供できるよう、講座数や活動内容を見直す必要がある。

上越市では、中学校卒業後自立を目指す若者を支援する場が少ない。若者が自己の目標に向かって、学習したり、悩みを相談したりする居場所を設置し運営することで、不登校、中途退学、ひきこもり等の予防と支援を行い、将来を担う若者の育成を図ることが必要である。

（施設の適正配置による活動場所の確保）

地区公民館 28、公民館分館 21、生涯学習センター等 13 の施設について、地域実情を把握し、適正配置を進める必要がある。なお、地域に他の代替施設がない場合は、地域活動が停滞しないよう当面施設は継続するが、地域と協力しながら必要最小限の維持管理を行っていく必要がある。

（オーレンプラザの管理運営）

9月30日の開館記念事業としての「東京アカデミック管弦楽団」によるコンサートのほか、様々なイベントや公民講座等の開催を実施することにより多くの市民から活用いただく必要がある。

【目指すべき姿】

学びを通じた人づくり、地域づくりを推進する。

【取組方向】 社会教育事業の充実

地域の団体及び各種教育関係機関の協力を得ながら、多様な学習活動を通じて参加者同士が学び合い、互いに高め合う学習機会の充実を図る。

【取組方向】 青少年教育活動の充実

地域青少年育成会議をはじめとする地域の団体や関係機関と連携しながら、青少年の各種体験活動や地域における行事を支援し、地域コミュニティの活性化や地域の教育力の向上を図る。また、これまで手薄だった義務教育終了後の若者支援の体制を強化し、途切れない支援を実現する。

【取組方向】 施設の適正配置による活動場所の確保

公民館及び生涯学習センターなど全ての建物について、地域に精通している区総合事務所と連携しながら地域の実情を把握した上での適正配置を検討するとともに、地域活動が停滞しないよう活動の場を確保する。

【取組方向】 オーレンプラザの管理運営

市民活動の場の提供により、市民活動や地域交流を促進し、もって賑わいと活力ある地域社会の形成に資することを目的としているため、市民が愛着を持ち、様々な用途で施設を幅広く利用できるよう運営を行う。

【平成30年度の重点事業（新規・拡充を中心に）】

社会教育事業

【事業内容】

[拡充] 中央公民館施設を活用した公民館事業を実施しながら、同施設の利用促進及び活性化に取り組む。
 ・中央公民館を基軸に、地区公民館及び分館単位で、ライフステージに応じた課題やニーズを踏まえた各種事業を開催することにより、学習機会の充実を図る。
 ・作品展や芸能発表会など、学習の成果や学びで得た技能を披露する機会を提供または支援することにより、学びが循環する地域づくりに取り組む。

【第6次総合計画】

6-2-1 学びを通じた人づくり、地域づくりの推進-2 公民館活動を通じた人づくり

青少年教育活動事業

【事業内容】

・地域青少年育成会議への交付金交付、情報発信により、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図る。
 ・謙信 KIDS プロジェクトでは、ニーズに応じた講座となるように、また、地域を知ることができる内容に見直すことで、学ぶ意欲やふるさとを愛する心の育成を図る。
 [拡充] 若者支援のため、「居場所」を開設し、相談・生活を一体化した支援を行う。また、支援ネットワークを構築し、支援活動と啓発活動の充実を図る。

[拡充] 日本PTA全国研究大会新潟大会及び第1分科会の開催について、実行委員会に対して必要な支援を行う。

【第6次総合計画】

6-1-2 学校環境の整備-3 地域ぐるみの教育の推進

施設管理・整備

【事業内容】

・施設の在り方の検討とともに、必要な修繕及び改修を行うことにより、利用者の安全と快適性を確保する。

【次期総合教育プランの取組】

5-1 人づくり、地域づくり充実のための支援

オーレンプラザの管理運営

【事業内容】

・多くの市民が集い、語らい、活動し交流する場として充実した活動を行えるよう適切な管理運営を行い、自主イベントや公民館事業等の開催により利用促進につなげる。

【第6次総合計画の取組】

6-2-1 学びを通じた人づくり、地域づくりの推進-2 公民館活動を通じた人づくり

平成 30 年度当初予算における主な社会教育事業説明資料**社会教育事業****【公民館事業】**

「学びの輪が 人をはぐくみ 地域を支えるまち」を社会教育の目指す姿として定め、学びを通じた人づくり、地域づくりを推進するとともに、中央公民館機能を有する高田公園オーレンプラザを核として各種イベントによるにぎわいづくりの創出など市民活動の育成と交流促進のための取組を進める。

- ・総事業費：58,966 千円 うち、中央公民館事業：1,732 千円

青少年教育活動事業**【謙信 K I D S プロジェクト】**

市内小学校に在籍する児童を対象に、様々な地域資源を活用した内容の体験活動を 21 講座 28 コース計画し、実施する。

- ・総事業費：3,870 千円

【子どもリーダー育成事業補助金】

地域における様々な体験活動を通じた青少年のリーダー育成の推進を図るため、子ども会等が行うリーダー育成事業を支援する。

- ・補助金：656 千円

青少年健全育成センター運営費**【街頭指導等】**

通常の街頭指導のほか、困難を抱える若者を支援するため、相談業務や応援セミナーの充実、居場所の開設や支援団体との連携を進める。

- ・総事業費：6,851 千円

施設管理運営費**【公民館等管理運営費】**

施設管理運営の安定化を図るため、直営化した受付業務を総合管理業務委託に改める。

- ・春日謙信交流館、八千浦交流施設はまぐみ
利用者の安全と施設の長寿命化を考慮した維持管理を行う。(主な工事)
- ・安塚区地域生涯学習センター 非常照明設置工事 4 施設 6,654 千円
- ・頸城区公民館南側分館 外壁張替 2,906 千円
- ・三和区公民館 給水管更新 2,592 千円

【市民交流施設高田公園オーレンプラザ管理運営費】

多くの市民が集い、語らい、活動し、交流する場として、充実した活動が行えるよう、施設の適切な管理運営を行う。

- ・管理運営費：43,968 千円

平成29年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)事業評価
1年目(八千浦区、三郷区、和田区、新道区)

地域を知り、地域の課題を把握する講座(地域の活動団体紹介、地域めぐり、地域の課題を把握)

地区名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加者数	社会教育委員による 事業評価					評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容				
							目的に対して、活動内容は適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気			参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
							評価	コメント	評価	コメント	評価			コメント	評価	コメント	コメント
八千浦区	地域学習をしながら魅力発見を行い、次年度につながるような活動を促す。 1年目...八千浦区の歴史を学ぶほか、史跡や施設等の見学し、地域の現状を知る 2年目...八千浦区の歴史や地域の取り組みを学ぶとともに、3年目の活動内容について考える。 3年目...参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。	[4回目] 9月2日(土) 9:00~11:30	中部電力(株)上越火力発電所 国際石油開発帝石(株)	[現地見学] 八千浦地域に密着している企業(中部電力(株)上越火力発電所、国際石油開発帝石(株))について学ぶ。	中部電力(株)上越火力発電所、国際石油開発帝石(株)の職員	22		地元大企業への研修と地域の連携強化としては好企画。	8:45集合、9:00出発、帰着12:00若干延長あり。企業側との意見交換などがあり。	出席者は、女性が60%。LNG・発電機器などのレクチャーが多く、少し難解の部分があったようである。	定員20名のところスタッフ共に26名の参加。地元住民がほとんどで、企業サイドとの連携も極めて良かった。	・上越地域の中でも高度な事業レベルの事業体を身近に持つ地域住民の研修を通して、企業サイドとの連携を深めることは意義がある。 ・先進技術の多い事業体見学は、高水準のコメントが多い場面があり講座の中で、若干の事業学習があれば良いのではと思う。 ・参加者は、地元地区公民館の皆さんで移動用の上越市の車は補助席を含めて満席状態、企業サイドの対応も丁寧で、今後の危機管理を含めて、良い企画であったと考える。	学習内容 話し合いの進め方	【来年度】 ・難しい内容を資料を用意したり、わかりやすい説明をしよう、事前打ち合わせを確認を行う。 ・第5回目のグループワークでは、意見を述べるのが難しい受講者もいたため、毎回交流する時間を設け、意見交換に慣れる環境づくりを進めたい。			
		[5回目] 9月22日(金) 9:30~11:00	八千浦地区公民館	次年度の活動に向けて、グループワークを行う。	-	17		方向性をわかりやすく指導されて活動が進められ良いと思う。	時間配分が難しいと思ったが、流れるに最後まで時間内に終えたので良かったと思う。	たくさんの声グループ内で聞かれた。	意欲はあるが思うことを表現する事が難しいと戸惑う様子もみられた。	話をし合う中で、地域の問題点などが少しずつ飛び出してきて、活発だった。しかし、まとめ、方向性を見つけるのは、なかなか難しい作業だと感じた。					
和田区	和田区の歴史や史跡、地域の活動団体の取り組みを学び、地域の魅力を再発見し、次世代に伝えていきたい宝について意見交換を行う。 1年目...和田区の神社や川、地域団体の取り組みについて学び、地域の現状を知る 2年目...北国街道や石碑について学ぶとともに、3年目の活動内容について考える。 3年目...参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。	[5回目] 12月7日(木) 9:00~11:00	和田地区公民館	次年度の活動に向けて、意見交換を行う。	-	11		地域の魅力発信という最終年度の目標に向かって、着実に活動を積み重ねている様子が感じられた。	平日の午前中ということで参加者は限定される傾向にはあると思うが、受講時間等は概ね妥当である。	自分達が中心となって、和田区の魅力を再認識し、発信していこうとする雰囲気強く感じられた。	次年度の活動内容を決定するにあたって、真剣で前向きな意見交換が行われていた。	3年計画に基づいての和田区の魅力発信が着実に進んでいる様子を垣間見ることができた。2年目、3年目の活動に期待がもてる講座内容であった。	参加者の確保 次年度の講座内容の検討	【来年度】 ・1年目の活動へ参加した方に呼びかけ、平日の午前中でも参加できる方を中心に活動を継続したい。 ・参加者が3年目の活動を視野に入れながら活動できるように働きかけていく必要がある。			
新道区	新道地区町内会長協議会で作成した「新道区のおゆみ」をもとに、新道区の成立を学ぶとともに、史跡(大道用水、子安遺跡)や施設(例:北陸研究センター、利水事務所)などを現地見学し、地域の魅力を再発見し、次世代に伝えたい宝について意見交換を行う。 1年目...新道区の歴史を学ぶほか、史跡や施設等の見学し、地域の現状を知る 2年目...引き続き、新道区の歴史や地域の取り組みを学ぶとともに、3年目の活動を見据え、新道区が連帯感を感じられるような活動(成果物作成も含む)を考える。 3年目...参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。	[5回目] 9月13日(水) 13:30~15:00	新道地区公民館	一年の活動を振り返り、区の強みや弱みについて意見交換を行うとともに、2年目の講座で学びたいことを話し合う。	-	15		学習テーマと内容について、ただ意見交換に終わらせることなく(各自シートに書いたりグループ毎にはり出したのはよかった。	日程を細かく決めてあったがもう少しアバウトであってもよかったか。	茶菓子の用意もあり、とても穏やかで活発かつ楽しい雰囲気を感じた。	各グループ毎に15人の参加者が意見を出し合っていた。	・参加者の多くは、各町内会の会長さんで顔見知りもあってか意見交換が活発に行われていた。これが2年目につながっていくことを期待したい。 ・女性の参加者がゼロだったのが残念である。元気の出るふるさと講座は、主催する担当者の力量が問われる(参加者の人数集めも含めて)と感じるとても良い時間だった。	時間設定 女性参加の促進	【来年度】 ・当日柔軟に活動できるよう、余裕を持った時間設定を行いたい。 ・当館の公民館講座受講者や利用者は女性が多いことから、積極的に講座の周知や参加の呼びかけを行う。			

平成29年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)事業評価 2年目(津有区、北諏訪区、大湊区、頸城区)

地域の課題解決に向けた活動を考える講座(先進地視察、活動に必要な学び、活動実践に向けた講座の検討)

地区名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加者数	社会教育委員による 事業評価					評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容				
							目的に対して、活動内容は 適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気			参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
							評価	コメント	評価	コメント	評価			コメント	評価	コメント	コメント
津有区	地域の歴史の学びや現地見学、地域で作成された資料の活用を通して、地域に対する誇りや愛着心を育むとともに、将来に残したい地域の宝(人や物)をまとめ、地域活性化につながる活動を実践する。 2年目...地域の歴史について学びながら愛着を深めるとともに、3年目に向けて地域の特性を生かした活動について考える。 3年目...地域の歴史を住民に発信し、地域活性化につながるような活動を実践する。	[3回目] 8月30日(水) 9:30~11:30	津有地区公民館	近隣地区で活動している歴史団体の取組や各地区の歴史を学ぶ。	高士歴史研究会 三郷地区の歴史・史跡を研究する会	12		近隣地域団体の取組みやそれぞれの地区の歴史を学ぶことにより、3年目につながっていくと思う。		最後の質問の時間がほとんどなく、少し受講者の感想・質問があるとよかった。		全員の顔がみえる机の配置で学ぶ姿勢が伝わってきた。		参加者は、歴史(地域の)に興味深く聞いていた。	講師の地域愛にあふれた話はとてもよかった。 各地域の歴史をお聞きする内容が多く、各団体の取組みの苦労や喜びをもっと聞くことができれば、津有地区の3年目の目標にもっと近づけるのではないかと考えた。 受講生22名のうち、第3回目の今日は12名の参加だったが、学ぶ意欲にあふれていた。	【来年度】 ・前回の様子が見える振り返りシートを作成し、参加者全員が講座の流れを理解したうえで活動できるようにする。 ・今年度のアンケート結果をもとに、参加者全員が満足できるような内容を検討する。 ・資料の内容及び量、時間配分(休憩や質問時間の確保)など、事前に講師との打合せを十分に行う。また、事業の目的に沿った内容となるよう、講師へ趣旨説明をしっかりと行う。 ・講座の趣旨及び目的を参加者に改めて説明し、理解を十分に深めてもらうよう心がける。 ・回ごとにテーマや目的が分かりやすくなるよう、学習テーマを貼り出すなどの工夫をし、参加者の意欲を高める。	
		[4回目] 11月1日(水) 9:30~11:30	津有地区公民館	近世の津有区について学ぶ。	清水萬蔵さん	17		津有区の昔の様子を知りたいという経緯があったと聞く。基礎資料を駆使しての学習は、裏付けを伴うものであり、説得力があった。歴史に興味のある方は、満足のいくものであったと思う		講義中心であったが、途中で休憩があり、全体として適切であった。		高齢者が多く、文書資料の読み合わせ的な活動が中心であるため、歴史好きには満足のいくものであるが、参加者全ての皆さんが満足できるかどうかアンケート等で集約した方がいい。		最後まで熱心に聴講していた。自分の町内の昔の様子に関心を持っていた。	講座の趣旨を参加者全員に共通理解していただき、最後にどうするのかの道筋が大事だと思う。 継続して取り組むために、全体をコーディネートする力が問われてくると思う。 その都度、新たに参加している方もいる。今まで何が分かり、何をしてくれているかといったような足跡が、お互いにわかるような工夫も必要ではないか。(その都度の成果が分かるようなもの、場合によっては活動の写真などでもいい)全体で協議したり、活動したりしていくときに有効だと思う。		
		[5回目] 11月15日(水) 9:30~11:30	津有地区公民館	地域の魅力について、みんなで話し合う。	-	11		江戸期の基礎資料を中心に分かりやすく説明していただいたおかげで、近世の津有地区の様子が理解できた。		途中で10分休憩をとり、前半、後半約50分ずつの講義で無理のない受講時間であった。		16名の参加者であったが、目的意識をしっかりと持って受講されている方が多いとの印象を受けた。		参加者からは顔が見られたり、相槌の声が出るなど、真摯な取り組み姿勢が感じられた。	平日の午前中で高齢の方々が多かったが、目的意識をしっかりと持って意欲的に参加されている方が多いことに感心させられた。 講師の方が用意した資料が、労作かつ膨大な内容であったため、後半がやや駆け足的な面が見受けられた。 今回の内容の一部だけでも一回の講座が組めるのではないかと感じたため、2回シリーズで設定してもよいのではないかと感じた。		

・時間設定
・講座の進め方
・学習環境の整備

地区名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加 者数	社会教育委員による 事業評価					評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容				
							目的に対して、活動内容は 適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気			参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
							評価	コメント	評価	コメント	評価			コメント	評価	コメント	コメント
大潟区	大潟区の魅力ある観光資源を生かすため、先進地の団体や観光ガイドについて学び、区外に発信し語れる人材を育成する。 2年目...観光による活性化で成果のある他地域の取り組みを学び、どのように活動すればよいか地域団体の皆さんとともに検討する。 3年目...活動に向けた準備及び実践を行う。継続するための体制作りを検討する。	【3回目】 8月25日(金) 9:30～11:00	大潟コミュニティプラザ	小山作之助について学ぶとともに、顕彰活動について話を聞く。	コーラスおおがた 代表 土屋美枝さん	8	大潟区の活動を知ろう「小山作之助の世界」地元出身の偉人、作曲家・小山作之助の事績やその生涯を知り、全国的にアピールすることで、地域文化と人材育成を図る。	1時間30分(9:30～11:00)、研修時間として若干不足気味。意見交換(グループワーク)5～10分の場面が必要。	悪天候のアクシデントがあり、講演者と同じグループ(コーラス)の皆さんが多く、和やかな雰囲気。	左記と同じ	・第1回の「卵の花鑑賞と作之助資料室見学」と内容的に重複する部分があるように感じた。ただ、講演者の「作之助」についての研鑽とアニメックなスライドを使った分かり易い講座は好評だったようである。 ・質問、意見交換などの時間設定がなく、「地域を担う人材育成」という視点からは考慮の余地があると思われる。	・時間の設定 ・意見交換の時間の確保	【今年度】 ・意見交換をする機会が少なかったため、5回目終了後に意見交換会の場を設けた。 【来年度】 各回の取組内容、時間設定について事前打ち合わせを十分に行う。				
頸城区	頸城区の豊かな地域資源を生かすため、地域の人たちが関わる仕組みづくりを実践する。 イベント(大池まつりなど)で訪れたお客さんに見どころを紹介し、ガイドができる人材を育成する。 2年目...頸城区内の特色や、取組まれている活動と合わせて他地域の実施事例を学び、今後力を入れて取り組みたいことを探る。 3年目...1～2年目の成果をもとに、地域の特色を生かす活動の実践に取り組む。	【1回目】 7月1日(土) 9:30～11:30	頸城コミュニティプラザ	参加者でテーマとしたい分野を話し合い、現地学習で行く場所を決定する。	-	17	区の宝とは何か、そこから何を導き出したいのか?観光、ガイドブック作成の規定路線に載せようとするリードになっている気がした。	土曜日の開催はよい。	カフェ形式にして話しやすい雰囲気を作ろうとする工夫を感じた。	2年目ででありながら全員が初参加。継続は一人もいない。主事が声をかけて全員が1本釣り。公民館分館の運営委員行政職員・OB、振興会関係者、各種団体の役員計26人。	・継続者が一人もいない。3年継続で何かを模索する理想がすでに崩れている。今回も職員が参加者を1本釣りというところに、疑問が残る。 ・頸城区ではこの講座の着地点をどこに持っていけば、より建設的な講座となるのか、区内のいるいるな人たちが行っている活動を踏まえたうえで、別の視点からの見方を職員が提案できれば面白い講座になると思うのだが、その視点を持つことが担当職員に要求されるのではないかと。 ・最終目標が決まれば、その達成のために必要なものが見えてくるが、3年目で何をなすのかかわからない以上、現地研修もただの観光になってしまうことを危惧する。このためには、これが必要だから見に行くという理由付けがない。それはつまるところ3年継続の講座で何をしたいか1年目で決められなかったからに他ならない。面白いことをやるねと言われる講座になることを望む。	・興味関心を持つ講座の進め方 ・講座内容及び目標 ・受講者の募集方法	【来年度】 ・元気の出るふるさと講座の目標と、参加者がやりたいことを一致させるよう、説明や意見交換を十分に行う。 ・受講者が自ら活動する講座にするには、どのような方法が適切か、地域性等を考慮しながら担当職員同士、講師等と十分に打ち合わせを行う。 ・参加者が行う活動が決まったので、今年度の受講者に継続しての参加を呼びかけていく。				

平成29年度 謙信KIDSプロジェクト事業評価

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加 者数	社会教育委員による 事業評価								評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容		
							目的に対して、活動内容は 適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)				全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント			コメント	
しょく	「上越野菜」について学 び、収穫体験を行うこと により、食への関心・興味を 育てる。	【1回目】 7月29日(土) 9:00～11:30	㈱エーエフグリーン	ナス・ひとくちまくわ の収穫体験	上越野菜振興協 議会 株式会社エーエフ グリーン 代表取締役 相澤誠一さん 新印青果株式会社 取締役野菜部部长 小森 茂さん	16		上越野菜を知り興味を もってもらおうという目的 なので、収穫中心の活動で 良いと思う。喜んで収穫で きて良かった。		夏休み前半、最初というこ とで午前中は良いと思う。		最初は雰囲気慣れない ようだったが、活動が進む につれて表情もよく声も出 ていた。		振り返りは、1年生にとっ ては時間が少なかったよう な気がした。一部の項目 は、文字ではなく、記号で 選ぶとか、をつける形 でも良いと思う。でも一生 懸命に書いていた。		・講座だよりも、雨でも行うという記述 があってよかったと思う。 ・上教大ボランティアの学生に、具体的 に何をすればいいのかがその場で指示を 行うと、子どもたちによりよい支援がで きやすいと思う。(男子児童はよく見た方が いいと思う) ・講師の方の説明が分かり易く、時間も 適当であった。 ・初めて顔を合わせる仲間だったが、職 員が上手にリードしながら進行しており 感心した。 ・予定していた畑の生育が確実ではな いと難しいと思った。	・時間配分 ・振り返りの方法	【今年度】 ・限られた時間の中では あるが、参加児童に合わ せた時間設定となるよう配 分に配慮して進めている。 【来年度】 ・参加児童の学年等も考 慮した時間配分、資料内 容となるよう工夫する。 ・職員・学生ボランティア 含めて、参加児童の学習 が深まるよう各人に合わ せた対応を行うようにす る。
	「上越野菜」について学 び、収穫体験を行うこと により、食への関心・興味を 育てる。	【2回目】 8月19日(土) 9:00～11:30	農事組合法人 大潟 ナショナルカントリー 園場	枝豆の収穫体験・選 別	大潟ナショナルカントリー 代表 竹田香苗さん 新印青果株式会社 取締役野菜部部长 小森 茂さん	20		雨が降らないうちに園場 での活動ができ良かった。		暑い時季でもあるので、収 穫作業等の時間もおおむ ね適切であると思う。		大量の枝豆の収穫作業を 見るのは初めてだと思う ので、皆、興味深く作業の 様子を見たり、話を聞いたり していた。		作業見学も枝豆収穫も熱 心に取り組んでいた。		・普段入れない広い園場での作業で、 子どもたちが楽しそうに活動していた。 ・今回は、雨の降らなかったが、雨天で 収穫作業ができない時は、目的を果た す事ができず残念な活動になってしま う。 ・脱穀、選別等の作業では、現場の 方々が分かり易く説明をしてくださっ ていた。 ・子どもたちの中で上越野菜の認識が より深まればよいと思った。 ・「食物には命がある。人の口に入って 死んじゃうけど、お腹の中でまた生き返 る」とある男の子が教えてくれた。まさ にそのとおりであり、食のありがたさや 必要性を、子どもなりに感じてくれて いるのだと感心した。 ・現地まで保護者の送迎となっている が、会場がわからず遅刻の人がいた。 教育プラザ集合はできないのか、現地 ではマイクロバスを使用している。	・雨天時の対応 ・送迎 ・案内文書(案内図)	【今年度】 ・雨天時には、枝豆を茎ごと と抜いたものを屋根の下 で収穫作業ができない時は、目的を果た す事ができず残念な活動になってしま う。 ・送迎については、平成27 年度から保護者の方にも 活動場所を知ってもらい、 子ども達の活動を見てもら うこともできるように現地 集合・解散を原則としてい る。 【来年度】 ・活動場所が分かりにくい 場所については、曲がる 場所の写真を掲載したり、 目印となる場所を示すな ど、案内図の表示を工夫 する。

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加 者数	社会教育委員による 事業評価						評価シートから見た課 題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容				
							目的に対して、活動内容は 適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気				参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント			評価	コメント	コメント	
食	発酵食品の特性や伝統あ る調理方法などを知り、食 に対する興味関心を育て る。	【2回目】 10月15日(日) 9:00～14:00	市民プラザ	・上越の発酵づくり体 験 ・あま酒(アルコール なし)を使った調理実 習 ・あま酒(アルコール なし)の秘密	料理研究家 井部真理さん 他補助講師1人 朝日池総合農場 平澤栄一さん	18		講師、指導者の適切な対 応がわかりやすく、子ども 達に伝わったと感じた。		長い計画だと思ったが、同 じ目的で活動した子ども達 が充分コミュニケーション を取れるので良かった。		各班にリーダーになる大 人がいて活動も安心して 進められて良かった。しか し、調理実習中、道具がな くてとどまっていた所も あった。		初めて口にする甘酒に警 戒した子どももいたが、調 理を通して新しい発見をし たのではなかった。	「発酵のまち上越」の魅力を、子ども たちが体験するという事は貴重な事だ と 思った。 ・昔ながらの食が理にかなっていて、安 全安心な身体を作る上で素晴らしい食 事なんだという事を、子どもたちがわ かってくれたら嬉しいなと思った。 ・調理器具の点検などが常にできてい るともっと良かったと思った。	【今年度】 ・活動開始前に調理器具 の数量や不具合がないか どうか等について確認し た。不足しているものにつ いて、基本的な調理器具 については施設側で用意 すべきものであるため、施 設側に要望している。		
								「あま酒の秘密を知り、あ ま酒を使った料理を作ろ う!」というテーマのもと、 座学と実習により講座が 組み立てられていた。目 的に対して、活動内容は 適切と考えられる。		開始から終了までが5時間 というのは若干長いような 気がするが、食事や片づ けまで含めた実習時間の 確保や振り返りを行うこ とを考えれば適切であると 考えられる。		担当者間の連携や担当者 と参加者及び参加者間の 関わりも良好であるよう に感じられる雰囲気であ った。		座学、実習ともに熱心 に取り組む参加者の様子 がうかがえた。甘酒を口 にしたときの驚きの声・表 情、また、実習での真剣な 表情が印象的だった。	・担当者から、今回の事業の日程や位置 づけ、前回の振り返り等の説明があ った。配布資料や説明の仕方・話し方 等がとても良かったと感じた。 ・「あま酒の秘密について」では、講 師が手作りの甘酒を持参されて、実 物を交えての講義であった。また、 「あま酒を用いた調理実習」にも 子どもたちは真剣に取り組んで いた。調理の献立は、子どもの嗜好 を考慮しつつも、地域の食材、旬の 食材、また、子どもの食の課題・問 題にゆやかにアプローチできる内 容であった。主食として炊飯されて いたご飯は「新之助」の新米であり、 企画者の細やかな配慮を感じた。 子どもたちの様子から、五感をフル に活用して「食」について学ぶこ とができていたのではないかと感 じた。 ・座学時の座席及び実習時の環 境には今後検討の余地があると思 った。机の配置や実習時の環境(調 理台の高さやスリッパの大きさ等) 等を確認する必要があるのではな いかと感じた。 ・ボランティアを募る時には、一定 の条件を示しているかについて知 りたいと思った。さらに、実習材 料の一部を講師が負担するような ことが起きていなければよいと思 った。	【今年度】 ・ボランティアについては、 上越教育大学主催のボラ ンティア体験を受け入れて おり、単位取得も可能なた め、1年生の履修希望者 が対象となる。 【来年度】 ・机の配置や調理台の高 さ等については施設の実 情もあるが、対応可能な 点があるかどうかを検討し ていく。		
								上越市が掲げる「発酵の まち上越」に正対した取組 であり、社会教育の本来 的な意義が表われている と感じる。こうした取組を 今後も継続していただき たい。	「あま酒の秘密」について 講師から分かりやすく説 明があり、最近の健康食 ブームについても触れ、今 に生きる発酵食品のあり がたさを優しい口調で語 った。あま酒の試飲もあり 次のメイン活動につながる ものとなっている。 ・メインの調理実習も、各 テーブルに大人が配置さ れ、安全面等に配慮があ った。 ・受講時間は適切であ った。		4年生から6年生まで学年 差があるが、おおむね良 好であった。スタッフの皆 さんも、個別対応ながら 丁寧な対応をしていた。		最後まで参観できなかつ たが、何をするのか、今 何をすべきかなど、参加 者が集中しながら聞いて いた。調理実習の身支度 等もよくできていた。	「講座会場の環境設定がよ い。」「発酵のまち上越」 の幟旗が掲げられ、各 テーブルにも置かれて いた。 ・甘酒の秘密について、 講師から分かりやすく 説明があり、試飲するこ とによって次の実習活 動への動機づけとなっ ていた。味噌づくりと あま酒を使った調理 実習がメインである が、「発酵のまち上越」 のポリシーを生かして いくとなると、坂口 謹一郎博士と川上善 兵衛の接点を組み込 むことも考えられる だろう。「点」をつな げて「線」を作るなか で上越市の特徴がより 鮮明になってくるので はないかと思われる。 大きな時間の流れ の中で現在があり、さ らに未来につなげてい ける発想を大切にし たい。 ・安全面に配慮された 人的配置、手際よく 実習ができるような 手順表もありよかつ たと思う。上越市発 酵食品研究会、上 越の食を育む会との 連携や、市長部局 との連携もなされ、 社会教育推進の 組織的なつながりの 重要性を認識した。 ・謙信KIDS全体を 通して、ふるさとへ の愛着や誇りを育む ことができるように 期待したい。スタッ フの皆さんの、こ れまでの準備、運 営に感謝いたします。 大変、お疲れ様で した。	【来年度】 ・未来を支える人づく りのために様々な体 験活動の場を提供し ている事業であり、 限られた時間・回数 の中ではあるが、 テーマから様々な 学びへ広がって いくよう講座の内 容を工夫していく。			

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加 者数	社会教育委員による 事業評価						評価シートから見た課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容				
							目的に対して、活動内容は 適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気				参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント			評価	コメント	コメント	
えほん	上越市内を舞台にしたお話や、 現地で、その土地に伝わる 民話を聞く。 お話を聞いたイメージを 絵にする。	【1回目】 8月26日(土) 8:45～12:00	大潟地区公民館	・開講式 ・大潟区に伝わる民話や 絵本、紙芝居などの読み 聞かせを行う。 ・お話を聞いたイメージを 絵にする。 ・描いた絵を仲間に紹介 する。	大潟区読み聞かせサークル 「えほんのひろば」 絵講師 山本みゆきさん (ワンダーランド)	6		昔話を聞き、現地で地蔵 尊を見て来たあとで自分 なりの絵を書く作業はかな り高度であると思う。もう 少しとりかかりやすい題材 の方がよいのかもしれない。		自分なりのイメージを絵に するむずかしさがあるので 時間的にはこれくらい必要 と思われる。		絵を描く事の難しさがある が一生懸命にとりこんで いた。ただ、なかなか絵を 描き始める事ができずに 困っていた子もいた。描き 始めると集中していた。		左記と同じ	・現地にてお地蔵さんを見 せて頂いたあとで、紙芝居 を読んで感じた。「あの紙 芝居のお地蔵さんがこれな んだ」と見方が違ってくる 様な気がする。 ・紙芝居のお話の言い回し が、低学年にはむずかしい 所が何か所があった。火 防地蔵というものをどの 程度理解してもらえたか？ その様な活動の中で、自 分なりのイメージで絵を 書くのは非常にむずかしい と思われる。もう少し とりかかりやすい題材が 良かったのではないかと 思われるが子どもたちは 一生懸命に取り組んでいた。	・講座内容 ・講座の進め方	【来年度】 ・平成27年度から童話や 民話をテーマに実施して おり、読み聞かせだけでなく、 実際に絵を描き、絵本と してまとめるなど講座内 容を工夫しながら進めて きたが、参加者数が伸び なかった。 ・来年度については講座 を休止する予定だが、引 き続き構想を練り、今後 につなげていきたい。	
ものづくり	・工作の基本や道具の 使い方を学ぶ ・日常生活に役立つ道具 の使い方や手業(手技)を 学び、使えるようになる (カッター、ノコギリ、ヒモ 結びなど) ・自然材料に触れ、手業 (手技)を活かし、使える ものを作り出す喜びを体 感する	【2回目】 9月9日(土) Aコース:9:30～12:00 Bコース:13:30～ 16:00	市民プラザ	・わら細工とヒモ結びの 基本を学ぶ (ワラのこもあみ飾り 作り) ・カッターの使い方を学 ぶ (鉛筆削り復習など)	木と遊ぶ研究所スタッフ	19		ワラ等自然の材料で作品 作りとても良い活動内 容である。	○	小1～3年生が対象であ ったが、1年生には持 続が少々困難か？		みんな真剣に取り組んで いて講師のやさしい指 導もありよかった。	○	途中あきてしまっている 子ども(低学年)もいた が、何とか全員作品を つくりあげた。	・講師陣の事前準備には はかりきれない時間と 苦勞があったものと推 察され敬服申し上げます。 ・20人の申し込み人数 に対し、当日19名の 参加があり、きっと第 1回目の作品作りで楽 しさを感じたのだと思 う。私が小学生の子 どもがいたらこのような 講座に参加させるだ らうと強く感じた。 ・謙信KIDSプロジェ クトの他の講座はど うなんだろうかとか 大変興味感心を持 った。	・時間配分(休憩や ゲーム、仲間づくり なども必要) ・講座内容(低学 年でも飽きない 工夫)	【今年度】 ・第3回の講座(草 木染め)では、班編 成をして役割分担 をするなど、子 ども同士で考 えて活動する 場を設けた。 【来年度】 ・わら細工にも いろいろある ので、こもあ みのような 単純作業だけ ではなく、飾 り付けや自 分で工夫でき る作業を取り 入れ、飽き ない内容に したい。	
チャレンジ	上越市の環境や地形の 特色を学び、自然を活用 して行うスポーツを体 験する。	【3回目】 7月30日(日) 9:00～12:00	吉川区 尾神岳	・パラグライダー体験 (その1)	尾神岳パラグライダー クラブ	19		大自然の中、空中遊泳を 体験する貴重な時間と 緊張感のある規律も学 べる内容だった。		約2時間の過程で一人 4回程度のフライトが 出来た。適切であ った。		社会教育課の職員、 パラグライダークラブ のアシスタントの皆 さんの熱心な対応 の中で児童も「楽し かった!」という言葉 があった。		今回講座では、3回 目で児童の動きも 比較的スムーズ、 めりはりある運 行と子どもたち への温かな視 点があった。	・「風を利用して空 を飛ばす、パラグ ライダー体験は高 学年の子ども たちにとっても 貴重な体験 である。 ・大自然の中で 多少の危険も 憶える「共働 」の規律を学 ぶことは、大 きな意義があ ると思う。 ・今回は4年生 6名を含む19 名、市全域 から参加があ り、加えて天 候、風力など も最良のコン ディション。十 数名のアシ スタントクラ ブメンバーの 熱心な協力も あり、楽し そうな児童の 姿に成功を 憶えた。 ・家族ぐるみ など大勢の保 護者の姿も あって良か った。	・安全管理	【来年度】 ・当該講座は、 カヌーとパ ラグライダー を体験する ものであり、 活動内容か らどうしても 危険が伴う が、十分な 安全管理と 支援を行 うことで、 貴重な体験 の機会とし て今後も 継続して いきたい。	

平成29年度 上越市美術展覧会事業評価

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	出品者数/点数・ 入場者数	社会教育委員による 事業評価										評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容
						開催時期、会期、会場は適当であるか		発表の場となり、鑑賞する機会となっているか		来場者の様子かどうか(鑑賞者の様子や会話など)		参加者の様子、取り組む姿勢(受講中の表情など)		全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)			
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	コメント			
上越市美術展覧会	市民に美術・芸術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、美術・芸術文化の振興を図る。	10月1日(日) 9:50～10:40	ミュゼ雪小町	開場式・表彰式	出品者数287人 (出品点数340) 入場者数4,975人		会場の雰囲気は好ましいが駐車施設を含めスペースに改善の必要あり。		適切と思う。		適切と思う。		表彰式終了後、運営側と受賞者との懇談の場が設定されたことは好企画だと思う。	・開場式、表彰式は、次年度オーレンプラザでの開催を予定との事で期待したい。併せて3会場を2会場くらいに設定すれば来場者にも出展者にも良いと思う。 ・少し事務的な趣きも感じられ芸術の分野ということで、選者の講評も含めてユーモア的な運営があれば好ましいと思う。	・会場の選定 ・式典の雰囲気、趣き	<p>[来年度]</p> <p>・3会場で開催した平成25年度以降の来場者アンケートでは、以前の体育館会場より「展示環境が良かった」という意見がある。一方で、各会場の移動負担があることから、1会場での開催を望む声は根強くある。しかし、1会場で全展示を行える施設はないことから、高田公園オーレンプラザ及びミュゼ雪小町の2会場に改める予定である。</p> <p>・上越市展は、美術・芸術文化の振興を目的に、一定レベルの作品を展示し、広く市民に「鑑賞してもらおう場」並びに「作品発表の場」として開催している。</p> <p>また、当市の特徴は中央で活躍する審査員が作品審査を行っており、芸術文化都市・上越として県内でも極めて高いレベルの展覧会を展開してきたことから、引き続き、著名な審査員を招聘し、出品者のモチベーションをあげるとともに、技術の向上を図る観点から、専門性の高さに趣きを置き、一定程度のグレードを確保したうえで、今後も継続に努めたい。</p>	